常磐毎日新聞

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　郵税五厘
廣告料　五號十二字詰一行　五十錢
休刊日　日曜大祭祝日ノ翌日
福島縣石城郡鍛治町十一　印刷所　本社専属　磐陽社

發行兼編輯人　印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町卅五番地　發行所　常磐毎日新聞社

八月十四日夕刊

常磐論壇

新聞に貞操なし（四）

山本正巳

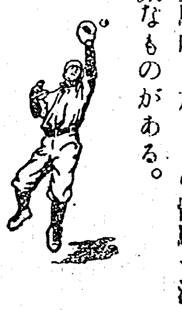
而して他の攻撃ならともかくも新聞の使命に關するこの種の重要問題についての一般の不平希望等に關しては總じて新聞社たるものそれが何れの新聞に掲載されようとも是れを公衆の眞面目なる聲として愼重に配慮せられむことを編輯當事者に切望しておく、何となれば、公衆の個々は團体的威力を藉る機會少く新聞に據るの外多くの場合言論について發表すべき自由を有するも機關を有しない、しかも有しないからその慾求を無視するはあるべからざる野蠻であり、責任回避であるからだ。

◇

是を更に細かく具體的に文字に現はれたところに見るに、鰻屋の主人某に對しては事柄自體が既に自然に感得せしむる輕蔑の念からその名も呼びすてに即筆誅的に叙述せるに某博士の息に對しては敬稱を或は用ひ或は用ひてない、この單なる言葉の遣ひ分けが誠に微苦笑ながら現時に於ける記者の因襲的な階級觀の痕跡と無方向的な今様道義觀の發芽との間の露骨な破綻を私共に見せつけてゐるではないか

◇

もとより以上の一例は新聞が毎日滿載して自らはぢない無形の人權蹂躪や名譽毀損の微々たる片鱗を示すにすぎぬ、夥しき例證は列擧する迄もなく諸新聞紙面に於て讀者が日々體驗する所である。殊に記事の材料に使はれる當の人々はその實驗味に於てその體驗や深刻なものがある。



常磐文藝

淋檎の色

宵の夢生

果物屋の電氣の下に
淋檎が赤々として列らべられてゐる
何んと云ふすばらしい色なのか
此の間の夜
或る露路を通つた時
格子にもたれかゝつてゐた
醉つぱらいの賣笑婦を見た
その時の賣笑婦の顏の色が
こんな赤々さであつた
何んと云ふすばらしく凄い
色なのか
魔法の淋檎よ！

品質優良　桝量豐富
関内精米所
平町長橋町　呼出電話一六〇番
御注文ハ多少ニ拘ハラズ早速配達イタシマス
是非一度ハ御試シ願マス

看護婦派出の求めに應ず
平町南町　平看護婦會　電話三〇七番

◉便利と經濟の親玉◉
瓦斯で炭をおこすには電氣ト金物特賣の『瓦斯火おこし』に限ります。炭がくすれず取扱ひに便利でございます　特價たつた金貳拾錢です　御家庭用の釘抜キ又は金槌には『小松式四德金槌』をおすゝめ致します、特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚きます
特製打刃物はすべて請合ひます
經濟の親玉文化竈、東洋竈、大正かまどの御試用をも願ひます
どうぞ見るだけでも來て見て下さい
平停車場前　平電氣株式會社
電機ト金物販賣部
電話平四二八番

開業
（書生入用）
山本齒科醫院
齒科醫　山本正惠
平町白銀町（平驛前通）

うなぎを召し上つて下さい
『うなどん』は卅五錢と五十錢とです
召し上がつて初めて當家の勉強振りを賞めて戴けると確信します
うどん　そば　まつや
平町長橋町

モートル
電氣機械器具各種材料販賣
電燈電力工事設計並ニ請負
製作ハ日立製作所
販賣ハ磐城工業商會
株式會社日立製作所特約店
東京電氣株式會社特約店
モートルと變壓器の修理を致します
常磐線平町四丁目　電話一一八番
磐城工業商會　中村佐治助

材料ハ安ク、能率ノ上ル、頼ンデ德、請ケテ樂ナ建物ノタメニナル
建物ノ絶好季！
機會ハ來ル！
一、一戸十九坪以内ノ住宅本年内十戸ニ限リ建築費三分ノ二迄三ケ年月賦金融
◎家賃ト大差無キ掛金ニテ三年間ニ自分ノ家トナル
毎月其家ノ東端シカラ三十六分ノ一宛アナタノ物ニナッテ行クノデス
磐城建物株式會社

萬年瓦
鐵道省　福島縣廳　御指定
仙台高等工業學校　試驗證明
萬年瓦工業株式會社
福島縣四倉町
電話三八番

ステキに安い……
森永　試食用ビスケット
高級ビスケット拾種類罐入
一罐特價二十錢

マツモトヤ
電二一四番

明治製菓會社

代理店　マツモトヤ

ユーホン號
特價提供
正價四十五圓のところ
特價三十五圓
（僞物あり御注意）
平四　會田時計店　電話三六三

石城郡選出の各派縣議が懇談

▽……地方問題解決に關し打つて一丸となる 明日磐銀樓上に

石城郡選出縣會議員大平睦四郎（憲）古川傳一（政）小野晋平（政）木村清治（政）草野順平（中）井上茂作（政）の五氏は明十五日午前十時より平町磐城銀行樓上に會合愛谷堰及

夏井川 の改修その他鈴木前縣議等の時代より從來縣當局に要求し尚未解決の地方問題に就き之れが實現促進に關する各派うつて一丸とした懇談會を開くとのことであるが由來地方に於ける一部黨人の

心理は 終始極めて偏狹なる所謂黨同伐異的の感情に支配されそのことの何たるを問はず妥協苟合を以て恰も黨人の面目をきずつくるかに穿き違へある塲合に於ては反對せんが爲にする反對旗幟の鮮明を以て猪突邁進の

信條と せるものあり石城地方の一部政黨者流亦お多分にもれず事毎に反對黨に對する主義主張の正面衝突を以て快とせるらしき傾向なきに非ずして往々地方福祉の開拓に向つて協力

一致の 實を缺く塲合なしとしなかつたのであるが終始この種の謬見に支配され反對黨なるが故の乘離を續くるが如きは決して地方福利の開發伸展に資する所以に非ずとし一部有識者がその迷想より蟬脫することを

熱望し て居た折柄なので今回各派縣議のうつて一丸とした會合は地方政界の空氣に一新機軸を出せるものと多大の期待を以つて迎へられて居る

一日一言

平町長 伏見彥衛氏

平町は現在新築税の納入額が縣下第一である、是れを見ても平町が如何に底力の强いものであるかを雄辯に立證して居る

當籤者決定

ゼブラ自轉車 昨夜谷口樓で

既報平町南町惠比壽屋自轉車店のゼブラ及びプライム華客抽籤會は昨十三日午後八時より谷口樓上に於て開會、列席者百餘に及び先づ店主鈴木彌太郎氏の挨拶あつて直ちに抽籤に移り最も公平なる方法に依り左記の如く當籤者決定主客觀を盡して萬歳を三唱し同十時半散した

▲一等（ゼブラ自轉車）一丁目白土屋米店▲二等（プライム自轉車）四丁目菊田萬吉▲三等（金時計）五丁目袋屋商店▲四等（金側腕時計）三丁目佐川洋服店▲五等（同）鎌田町武子商店▲六等（銀側腕時計）二丁目なかや洋服店▲七等（同）白銀町水野氷店▲八等以下廿等迄（商品券）豐間村鈴木喜八同石井清四郎、同鈴木菊之助、同遠藤俊雄、南町鈴木友治、平驛前益子屋南町伊藤商店、四丁目山城屋、一丁目小川屋、江の網飯田鐵工塲、四丁目袋屋、平窪村松本德一、白銀町石井魚店

昨年より二倍の收入

石城郡の春蠶實收

石城郡に於ける本年の春蠶總收獲高は白繭の掃立枚數一萬二千四百八十四枚で上繭六萬四千八百卅一貫、玉繭七千二百五十四貫、屑繭二千三百七十六貫、合計七萬四千四百六十一貫價格は一貫匁につき十圓、黄繭掃立枚數四千八百十三枚で上繭二萬八千七百六十七貫、玉繭二千百五十六貫、屑繭千百九十二貫、合計三萬千七百卅二貫價格は一貫匁に付き十圓一錢、總收獲は十萬六千百九十三貫、價格百五万二千七百十四圓であるが昨年度は總收獲八萬三千三百十五貫で價格五十二萬四千九百九十二圓であつたから今年は恰度昨年の二倍の收入があつた譯である

自動車からむしり取る

平町で御用

耶摩郡猪苗代町鳥万自動車部運轉手茨城縣生れ林武司郎（二六）は給料を支拂ぬとて自動車の主要部を盜み平町に入り込んだ處を十五日逮捕された

窮民を救ふと

押賣り二人男

自稱東京府下板橋町中丸九岡堅治方四倉新太郎（三三）同西巢鴨町齊藤昌（四三）の兩名は十四日午前九時半頃平町舊城跡鈴木近之丞方に於て自分等は三越呉服店の店員だが震災の爲め貧困に陷つた市民を救護する資金を得る爲めと稱し樟腦や石鹼等を押し賣りしたので平署に引致された

害虫驅除

熱心に指導 督勵

石城地方の農作物には例年より病害虫の發生多きため同地方ではこれが驅除豫防に用ゆべき機械藥品等を買入れ村農會に備へつけあるひは無償で一般に配布する等腐心の結果成績比較的良好であるが昨今水田に第三回の青虫發生しなほ稻害イ縮病稻熱病等蔓延の兆あるのでこのまゝ放置せんかその被害減收寒心に堪へざるものあるので郡當局でも細心の注意を拂ひこれが驅除豫防に關し管內農村に對し熱心指導奬勵中である

捕鯨根據地

小名濱で運動

石城郡小名濱町海岸埋め立地に東洋捕鯨會社の捕鯨根據地を設くる計畫をたて地元では町の發展になる事だからとて早速快諾を與へ縣でもまた承諾を與へたが農林省水產局では地方公共團体の事業ならよいが一營利會社の事業へ許可は出來ないとはねつけた

家庭欄

民間藥の果物（三）

▲無花果の葉 をつぶして其汁を水虫に付けるとすぐ功があります。

▲銀杏は 毎夜寢る時に燒いて食べますと、小便の近い人に効があります、これは大そう体が溫まつて、そゝうをする子供の藥によろしうございます。

▲胡桃は壁土を喰べたがる子供に、青くるみの皮を日光にさらして紛末にしたものを、毎日お湯で飲ませると、そのくせがなほります

▲タコにあてられた時はクルミの皮を煎じて飲めばなほります。カヤの實は痔の藥になりますし、カヤの葉をむし燒きにして、その上へ、水虫を病む手を四五度もかざせばなほります、水虫は糠をお湯に立てゝ洗ひますと、なほりが早ふございます

平局優先電話架設決定

▽……本社も其特典に浴す

平町新設電話は昨報の如く明日迄に架設費納入濟次第十六日から開通の豫定となり既に納入濟みとなつた新加入者に對しては現に非公式ながら市內通話を許して居るが一方五口の優先架設者は平局の申達に基き仙台遞信局にて嚴選の結果左記の如く本社も其特典に浴して電話が架設される事となつた

（六二九番）平第三小學校（六三〇番）常磐毎日新聞社（六三一番）中外商業新報福島新聞平支局（六三二番）石城憲政俱樂部（六三三番）平區裁判所內辯護士控所

延びた平町

全く面目一新 南へ……

平町南裡新道路附近はその後ます〳〵發展膨脹をなし家屋の建築するもの頗る多くまさに櫛比するが如き狀態となり同町役塲の如きも近く同町に改築する事となつたので當局にてはまたも第二期計畫として電話の施設並に工費三千七百三十五圓を支出して四條の枝線道路を新設する事となり既に去る七月下旬より着工し目下工事進行中であるがこれが完了後は町發展の上に多大の影響を與へるであらうと

酒と醬油出品

石城郡の清酒醬油釀造組合では來る十一月一日から向ふ十八日間日本釀造協會東北支部主催で仙臺市公會堂に第一回の東北清酒醬油品評會へ各釀造家競つて自慢の銘酒及び醬油を出品する筈で平稅務署並に組合協力督勵中であるが出陳は百點以上に達するであらうと

兎の耳

・・・死んだ女房の顏見たさに墓を發く男・・・

八王子市台町信松院墓地に十二日夜十一時半ごろ職人體の男が忍び込み新佛の墓を發掘棺の蓋をまさにこぢ明けんとする所を寺男が發見かくと住職に告げたので住職が驅けつけ怪漢を逮捕取調べた所右は本町鳶職鹿沼鐵藏（三六）さて發かんとした墓は七日に死亡した妻とし（三三）のもので同人が泣ながらに訴へた所によると昨年八月結婚以來二人の仲は人の羨望する所であつたが生れながら病弱なとしは本年三月風邪から肺結核を病む身となり遂に恢復の望みを失つたので鐵藏は去月廿四日の祭りには人力車に妻を乘せ己が付添で各所を見物させた程であつたが遂に死亡したので戀しさから氣も狂はんばかりになつてもう一度その死顏を見んものとした事判明住職も同情し懇々說諭の上引取らせた

募集

文藝其他投稿を募集します

平町人事

▲死亡

△新川町 谷田部セン（五九）

△紺屋町 當時郡山市村室山村今朝雄（九つ）